

2026年6月15日

各 位

会 社 名 G M O コ マ ー ス 株 式 会 社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山 名 正 人  
(コード番号：410A 東証グロース市場)  
問 い 合 わ せ 先 コ ー ポ レ ー ト 七 海 智  
統 括 本 部 長

TEL. 03-3770-7030

**配当方針の変更および  
2026年12月期配当予想の修正(増配)に関するお知らせ**

当社は本日開催の取締役会において配当方針の変更および2026年12月期 配当予想の修正(増配)について、以下のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当方針の変更

(1) 配当方針の変更理由

本日付「店舗向け販促アプリ等を展開する GMO デジタルラボ株式会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ」のとおり、GMO デジタルラボ株式会社の全株式を取得し、2026年7月1日付で同社を連結子会社とすることを決議いたしました。これに伴い、当社は2026年12月期より単体決算から連結決算へ移行いたします。連結決算ベースを基準とすることで、グループ全体の経営成績および財務状態をより適切に反映した株主還元を行ってまいります。

なお、配当性向 65%および株主資本配当率(DOE) 8%という株主還元の水準そのものに変更はなく、安定的かつ継続的な配当を実施するという基本方針に変わりはありません。

(2) 変更内容

<変更前>

株主還元を経営上の重要な課題と認識しており、業績や事業拡大に向けた資金需要に対応した内部留保の確保を総合的に勘案したうえで、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針としています。今後の配当水準につきましては、2026年12月期より株主資本配当率(DOE※) 8%以上または配当性向 65%のいずれか高いほうを採用する基準として実施してまいります。

<変更後>

当社は、株主還元を経営上の重要な課題と認識しており、業績や事業拡大に向けた資金需要に対応した内部留保の確保を総合的に勘案したうえで、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針としています。

具体的には、連結ベースの配当性向 65%または、連結株主資本配当率(DOE) 8%以上のいずれか高い方を基準として設定しております。今後も、経営成績及び財務状態を勘案しながら、安定的・持続的な株主還元に努めてまいります。

内部留保資金については、当社の既事業の事業資金、及び新規事業等に必要な成長投資に利用することにより、企業価値向上に努める考えであります。

(3) 変更時期

2026年12月期の配当より適用いたします。

2. 配当予想の修正

(1) 配当予想の修正理由

2026年12月期の期末配当金につきましては、上記配当方針の変更に伴う連結ベースの配当性向65%または、連結株主資本配当率(DOE)8%以上の基準に基づき、前回予想の48円24銭から2円32銭増配し、50円56銭に修正することといたしました。

(2) 修正の内容

	年間配当金 (円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	—	—	—	48円24銭	48円24銭
今 回 修 正 予 想	—	0円00銭	—	50円56銭	50円56銭
当 期 実 績	—	—	—		
前 期 実 績 (2025年12月期)	—	0円00銭	—	40円30銭	40円30銭

以上